

第 2 次船橋市文化振興基本方針 個別事業評価シート

事業名	音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭				
担当課	文化課	担当者	水沼	連絡先	2888

第2次基本方針における事業の位置付け

最も該当する基本目標	Ⅲ 育みつながる
最も該当する施策	施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築
関連目標・施策	子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実

事業の概要

開催年度	平成5年度		
開催経緯	平成6年1月30日、市内の音楽団体、小中学校が中心となり、船橋アリーナの落成記念事業として出演者800名、観客2,000名で始まる。 翌年から実行委員会を立ち上げ、市内の音楽関係者が創意工夫をし、企画・運営を担っている。邦楽団体、合唱団体、高校生などを参加者も広がり、市民がより多く参加できるよう企画を検討している。 第4回開催から「ふなばし音楽フェスティバル」事業として実施しており、音楽のまち・船橋を代表する事業として、市民と共に作り上げる音楽祭として定着している。		
事業目的	市内の音楽団体が一堂に会し、世代やジャンルを超えた交流をすることで、音楽文化の振興を図る。また、子供たちの未来につなげていくため、事業を通じて音楽環境の整備に寄与していく。		
対象	市民、市内音楽団体、市内小中学校音楽系部活動		
事業内容	年に一度、船橋アリーナにて市内小中学校や音楽団体等が一同に介した「千人の音楽祭」を開催し、演奏を披露する。「子供たちの未来につながる音楽祭」と位置付け、世代・ジャンルを超えた音楽的交流を図る。		
実施主体	音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭実行委員会「千人力」	市との関わり	文化課は実行委員会事務局を担っている。
指標	来場者満足度		
参考指標の設定理由	実行委員が観客の満足度を一番に考えながら企画の検討をしているため。		
情報発信	■ 広報ふなばし ■ Facebook ■ HP □ Twitter ■ チラシ □ その他（ ） □ ポスター		

経年

年度	令和2年度 （決算）	令和3年度 （決算）	令和4年度 （決算）	令和5年度 （決算）	令和6年度 （予算）
事業費＝決算額	5,951,175	6,190,018	8,913,151	13,217,849	10,186,000
市予算	5,850,000	6,000,000	7,024,292	6,565,531	9,645,000
補助金・協賛金等	99,450	190,000	1,888,850	6,539,510	530,000
その他（ ）	1,725	18	9	112,808	11,000
人工（常勤職員）	1	1	2	2	2
人工（会計年度任用職員）		0	0	0	0
その他人工（ ）	19	22	21	20	18
目標値	90%	—	90%	90%	90%
実績値	—	—	96%	98%	
事業内容 ※現年度は計画	会場開催中止 特別番組を制作し、J:COMにて放映。 放映：R3年3月7日午後3時00分～	J:COM特別番組 (事前収録動画) 放映：R4年3月13日午後3時00分～午後4時00分 J:COM公式YouTubeにてアーカイブ配信 R4年3月14日～30日	アリーナ開催 開催日時：R5年2月5日午後2時00分開演 来場者 2,030人 出演者 1,267人	アリーナ開催 開催日時：R6年2月4日午後13時開演 来場者 1,734人 出演者 1,947人	アリーナ開催 開催日時：R7年2月2日午後13時開演

自由記述 (これまでの欄で書き切れない内容・特に推したい年度の事業 P R ・補足説明等、自由に記入する。)	R5年は千葉県誕生150周年記念事業として開催し、千葉県から600万円の補助金交付を受けた。
---	--

事業評価

評価対象年度	令和 5 年度 第 3 1 回音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭
評価実施年度	令和 6 年度

事業所管課による一次評価

1：目標を大幅に下回ってしまった。 2：目標をやや下回ってしまった。 3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。 5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

定性評価	評価項目	事業目的の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 □	5 ■
	評価理由	オーケストラ、吹奏楽、和太鼓、ビッグバンド、合唱、ゴスペル、よさこいソーランの披露、特別ゲスト（M O S , 7 0 3 号室）演奏など多様なジャンルの出演者総勢1,947人での開催が出来たため。				

定量評価	評価項目	目標値の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 □	5 ■
	評価理由	来場者の98%から、アンケートにて「大いに楽しめた」「楽しかった」の回答をいただくことが出来たため。				

文化振興推進協議会に 助言・提案を求めたいこと (何が課題か、どのような助 言を求めたいか、明確に記入 すること)	近年、実行委員会への小中学校教員の参加は増えているが、一般音楽団体の参加が減る状況となっており、事業を実施するための企画、運営、演出などを実行委員会にて担うことが困難な状況となりつつある。実行委員不足の原因として、千人の音楽祭の事業規模が大きくなり、企画・運営面で実行委員に負担がかかり過ぎてしまうことがあげられる。 (教員・一般音楽団体の実行委員はボランティアで事業運営に参加してくれている)全国的に見ても、千人の音楽祭規模のイベントをボランティアのみで企画運営している例を見つけることが出来ず、今後とも安定的に事業を継続していくため、例えば事業運営に必要な業務の一部を外部委託するなど、何かよい方法があれば文化振興推進協議会にて助言を求めたい。
---	---

文化振興推進協議会委員による二次評価（文化振興推進協議会にて協議）

事業に対する評価・ 今後の事業展開への 助言・提案	
---------------------------------	--